

19:18 望みのあるうちに、自分の子を懲らしめよ。しかし、殺そうとまで考えてはならない。

19:19 激しく憤る者は罰を受ける。たとえ彼を救い出しても、ただ、これを繰り返すことになる。

19:20 忠告を聞き、訓戒を受け入れよ。そうすれば、あなたは後で知恵を得る。

19:21 人の心には多くの思いがある。しかし、【主】の計画こそが実現する。

19:22 人の欲望は自らへの辱め。貧しい人はまやかし者にまさる。

19:23 【主】を恐れるなら、いのちに至る。満ち足りて住み、わざわざいにあわない。

19:24 怠け者は皿に手を伸ばしても、その手を口に持って行こうとさえない。

19:25 嘲る者を打て。そうすれば、浅はかな者は賢くなる。悟りのある者を叱責せよ。そうすれば、彼は知識をわきまえ知ることになる。

19:26 父に乱暴し、母を追い出す者は、恥と屈辱をもたらす子。

19:27 わが子よ、訓戒を聞くのをやめてみよ。あなたは知識のことばから迷い出ることになる。

19:28 よこしまな証人は、さばきを嘲り、悪しき者の口は、不法を呑み込む。

19:29 さばきは嘲る者のために、むち打ちは愚かな者の背のために備えられている。

子どもは体験によって成長する面がありますから、悪い行いの結果を体験する必要があります。「懲らしめ」は大切な経験になります。ただし、罰が重すぎることはよくありません。「殺す」とありますが、

命を断たないまでも、自尊心や平安や希望や意欲までも殺してしまわないように、十分な自制と愛が必要です。主に祈ることです。

「激しく憤る者」は何か心の問題を抱えている場合が多いです。助けてあげたいですが、「繰り返す」ことが多く、解決は難しいのです。私たちは覚悟と理解、また祈りが必要で、気の長い対応が求められます。主にゆだねることが必要です。

「忠告」「訓戒」は必ず助けになりますから、喜んで「受け入れ」ましょう。

「人の心には多くの思いがある。しかし【主】の計画こそが実現する。」とのみことばは、常に心に留めておきましょう。

「貧しい」ことは何も恥ずべきことではありません。むしろ、もっと欲しがる「欲望」の方が「辱め」られるような恥なのです。

「嘲る者」にも「浅はかな者」にも「悟りのある者」にも、教育や訓練は必要です。それぞれに効果がありますので、状態をよく見極めて善くなるようにしましょう。

愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、

